

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	パルいずみ
2	指定管理者	社会福祉法人 緑仙会
3	指定期間	平成29年4月1日から令和4年3月31日まで（5年間）
4	施設の利用状況	《利用者数》 ・平成30年度 3,622人（前年度比 97.65%） ・平成29年度 3,709人（前年度比 92.82%） ・平成28年度 3,996人（前年度比 101.58%）
		《事業》 精神障害者が自宅から通所し、作業やレクリエーション等の必要な訓練・指導を受けることで、自活の促進を図る。
5	収支の状況	《費用》 ・ 指定管理者に支払った費用 47,628千円 （49,370千円） ・ その他市が負担した費用 11,061千円 （ 0千円） （ ）は前年度決算額
		《収入》 ・ 使用料収入 21,202千円 （24,870千円） 【再掲：利用者負担額 111千円 （ 171千円）】 ・ その他収入 8,800千円 （ 0千円）
6	利用者の声	《実施状況》 ・平成31年2月、指定管理者の協力のもと障害者支援課で利用者アンケートを実施し、26人/27人（96.3%）の回答を得た。施設の利用に関し、満足又は大変満足が69.2%であり、普通が30.0%、不満が0.8%、大変不満が0.0%であった。

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野		所見	評価
I	総則	施設の設定目的に基づいた管理運営が適切になされている。 就労移行支援事業及び就労継続支援B型事業のサービスの提供に意欲的に取り組んでいる。 退所者に対しても、就労後の職場定着支援として、事業所訪問や電話連絡といったアフターフォローに努めている。	45/45
II	施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間での情報共有も図られている。また、経理処理についても、経理を担当する職員を配置し書類作成などが適切に行われている。 利用者への訓練や指導の質の向上を図るため、個人情報の管理に配慮しつつ職員間での情報交換や情報共有を目的とした各種会議を開催している。また、事故や災害に備えた研修を行うとともに、マニュアルを作成し緊急時対応のための体制も適切にとられている。	24/24
III	施設・設備の維持管理	建物・設備の保全や備品管理については、委託仕様書に沿った適切な管理・取り扱いがなされている。施設内の清掃は定期的に行われており、利用者が衛生的かつ快適に利用できる状態であった。 グリーン購入に関しては前年度と同様、予算範囲内で積極的に取り組んでいる。また昨年度同様、冷暖房等空調設備の省エネ運転や不要な照明の消灯などの取組みに努めた。	24/24
IV	サービスの質の向上	施設職員の資質の向上や意識啓発、対応や接遇に関する研修や外部研修を取り入れる等幅広い内容で実施している。 サービス水準の確保のため、事務フローマニュアルを適切に作成している。 ホームページでの情報提供や施設のパンフレット作成等を随時見直し、適切な利用情報の提供に努めている。	28/28
V	施設固有の基準	就労移行支援事業においては「就労チェックリスト」、就労継続支援B型事業においては「アセスメントシート」をそれぞれ事業所独自のものを作成し、利用者の支援に活用している。 また、工賃目標の設定、工賃向上に向けた利用者とのグループワークの実施、就労移行支援プログラムや職場開拓、工賃向上へ向けた自主製品の商品開発や販路拡大のための営業活動等に積極的に取り組んでいる。	12/12

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み	評価すべき理由		
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%; text-align: center;">加点評価</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">—</td> </tr> </table>		加点評価	—
加点評価	—		

四 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人 緑仙会）による自己評価》	
<p>パルいずみは、指定管理者管理業務協定書及び仕様書に基づく適正かつ円滑な業務管理に努めるとともに、当法人の第三次中期経営計画(H29～H33)に則して策定した「平成30年度パルいずみ事業計画」に基づき事業を実施した。</p> <p>就労移行支援事業に関しては、利用者が目標とする就労に向け、就労プログラムを確実に実施した。事業所内では、就職に向けた基礎訓練、講義、事業所外では販売会における販売訓練、ATM清掃、職場見学、ハローワークでの求人検索等に取り組んだほか、個別のプログラムの充実を図り、2名が就職した。就職者に対しては、職場訪問や電話連絡、就職先担当者との連携等の職場定着支援を実施し、就労の継続を図った。</p> <p>就労継続支援B型事業に関しては、個々の目標達成が図られるよう、利用者一人ひとりの状況や希望を把握し、それに相応しいサービスの提供に努めた。また、工賃については、工賃目標を設定し、新たな作業受注先の獲得、自主製品の販売活動、利用者参加による日々の作業改善を通じた作業封入の増加により、目標を上回った。このほか、利用者の高齢化・重度化に対しては作業環境の整備や一人ひとりの状態に応じた作業内容及び作業方法を検討し、指導を進めた。</p> <p>地域における市民向け取組、啓発活動として、宮城県社会福祉協議会との連携による「福祉の職場親子体験会」や、桂小学校特別支援学級見学体験会、民生委員協議会での講話、泉ヶ丘地区社会福祉協議会からの見学受入を行ったほか、区自立支援協議会実務者ネットワーク会議や地域包括支援センター主催の地域会議へ参加した。また、地域交流としてナイスハートバザールinせんだい、ベガルタ仙台ホームゲーム、泉ヶ丘小学校バザーや医療・福祉専門職の養成校の学園祭での参加・出店を行った。</p>	
《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>平成30年度の管理運営については、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われていた。</p> <p>就労移行支援事業においては、利用者の雇用につながるよう基礎訓練及び講義等の事業所内プログラムに加え、個々の状況や希望に沿った労働条件の絞り込みを行い、職場見学及び実習等の事業所外プログラムを提供したことなどにより、就職者数が29年度を上回ったことは評価できる。</p> <p>また、就労継続支援B型においては、新たな作業受注先の獲得、自主製品の販売活動、利用者参加による日々の作業改善を図ることで、作業収入の増加に伴い工賃を29年度を上回ったことは評価できる。</p> <p>全体としては、研修の実施による職員の人材育成の取組みを積極的に行うことなどにより、就労移行支援事業所と就労継続支援B型事業所として良好なサービスに繋がっているため、総合的に高く評価できる。</p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">S</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局障害福祉部障害者支援課